

和歌山県の地震

令和5年7月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

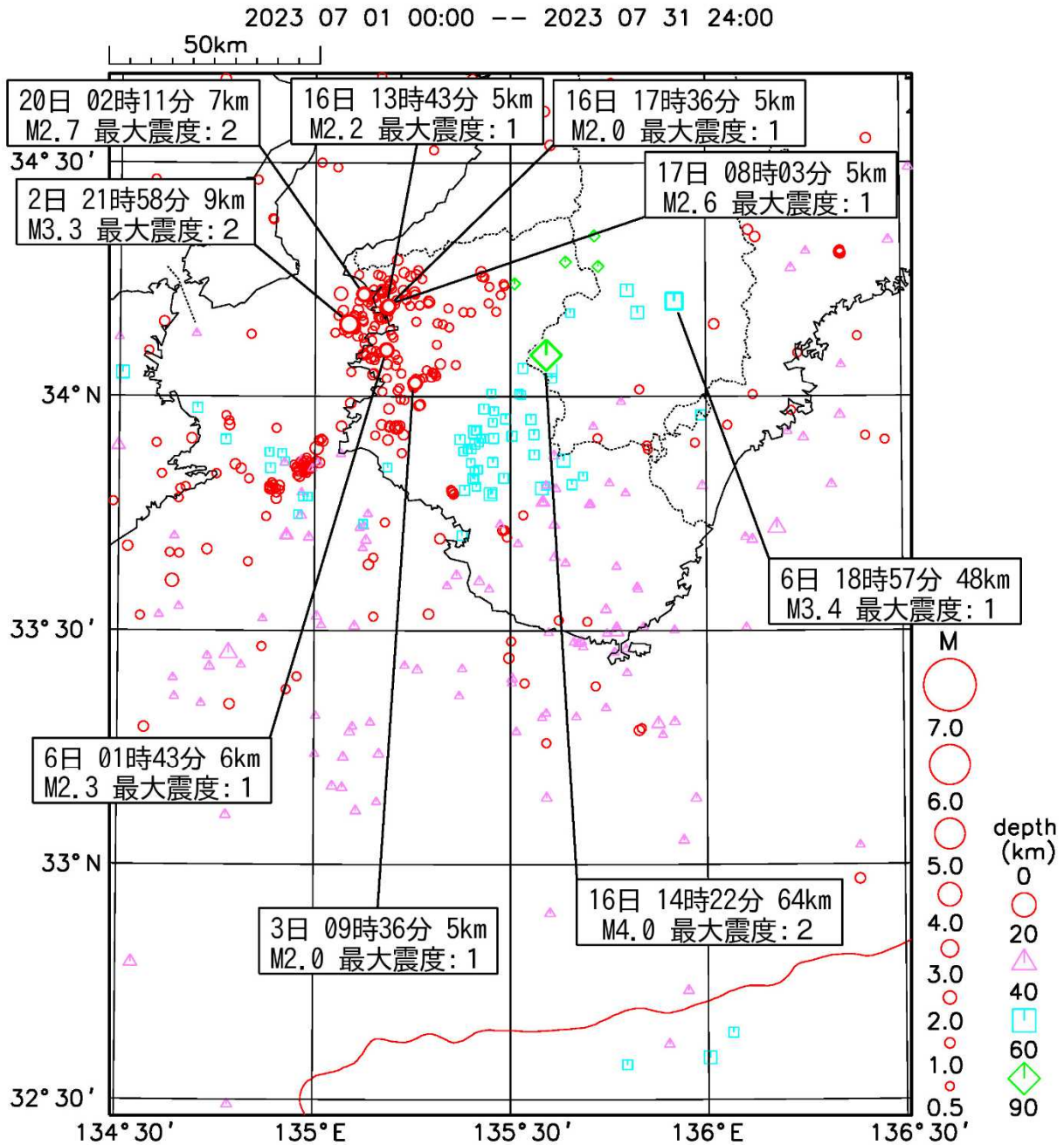
「津波の高さ」について	・・・・・・・・ 7
-------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

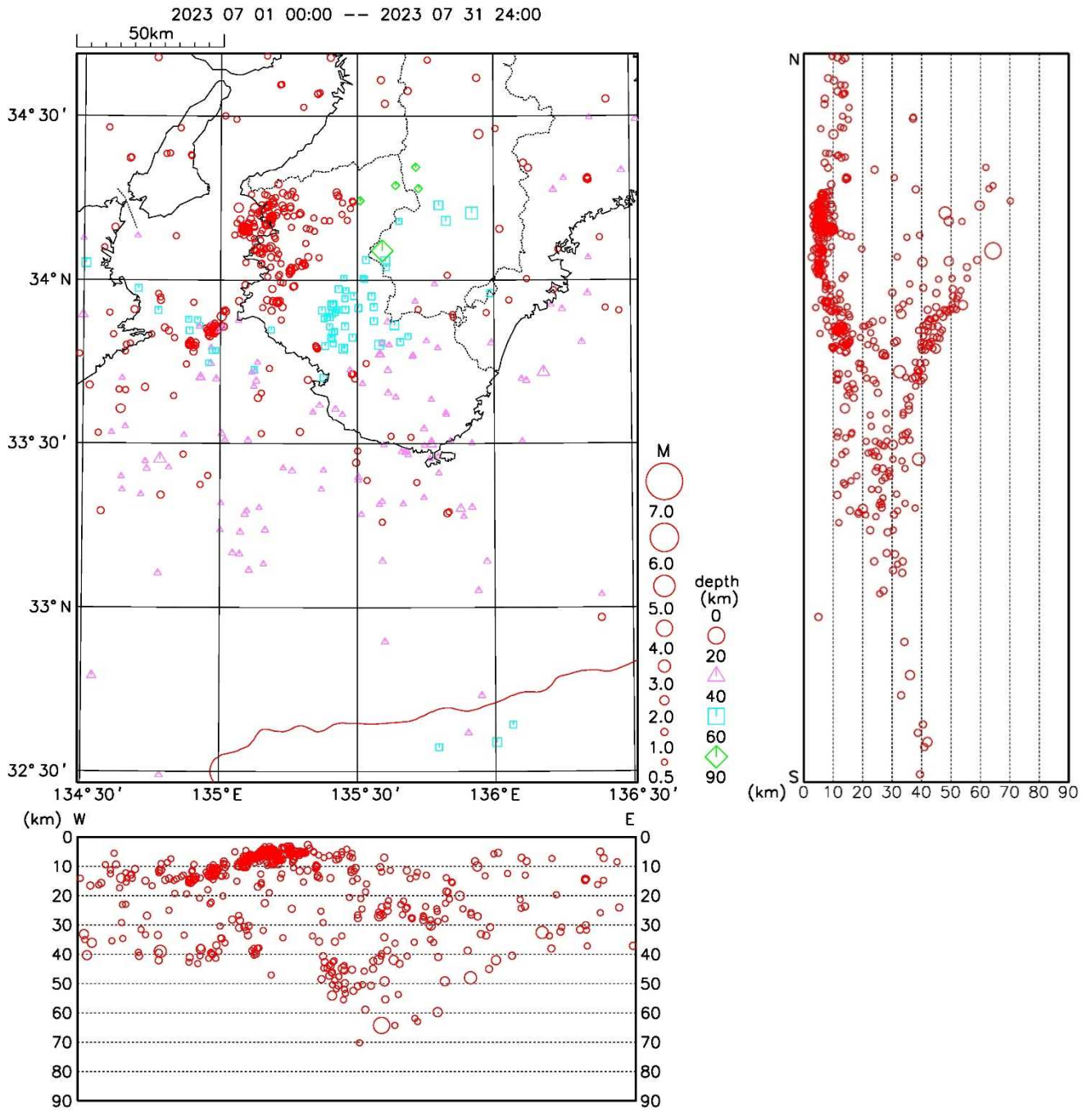
【震央分布図】



【概況】

7月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は34回（前月は32回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、16日14時22分の奈良県の地震（深さ64km、M4.0）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。
 7月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、9回（前月7回）でした。

【断面図】



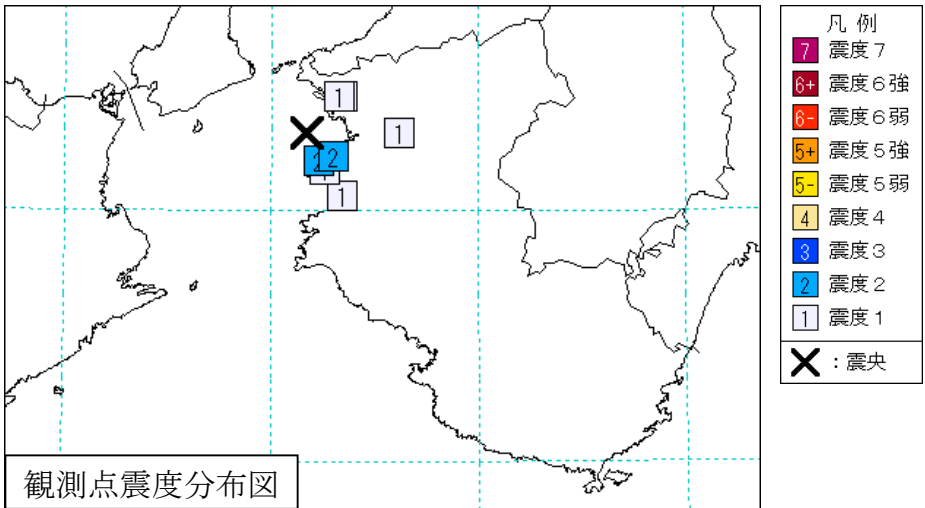
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2023年07月02日21時58分	紀伊水道	34° 09.3' N	135° 05.2' E	9km	M3.3
和歌山県	震度 2： 海南市下津*，有田市初島町* 震度 1： 和歌山市男野芝丁，和歌山市一番丁*，有田市箕島，和歌山広川町広* 紀美野町下佐々*				
2023年07月03日09時36分	和歌山県北部	34° 01.7' N	135° 15.3' E	5km	M2.0
和歌山県	震度 1： 湯浅町青木*				
2023年07月06日01時43分	和歌山県北部	34° 06.0' N	135° 10.9' E	6km	M2.3
和歌山県	震度 1： 海南市下津*，有田市初島町*				
2023年07月06日18時57分	奈良県	34° 12.3' N	135° 55.1' E	48km	M3.4
和歌山県	震度 1： 新宮市新宮				
2023年07月16日13時43分	和歌山県北部	34° 11.5' N	135° 11.0' E	5km	M2.2
和歌山県	震度 1： 和歌山市男野芝丁，和歌山市一番丁*				
2023年07月16日14時22分	奈良県	34° 05.4' N	135° 35.5' E	64km	M4.0
和歌山県	震度 2： 御坊市菌，御坊市湯川*，日高川町土生* 震度 1： 海南市下津*，橋本市東家*，有田市箕島，有田市初島町*，湯浅町青木* 和歌山広川町広*，和歌山美浜町和田*，和歌山日高町高家*，由良町里* みなべ町土井，日高川町高津尾*，有田川町下津野*，田辺市中辺路町近露 田辺市中辺路町栗栖川*，新宮市熊野川町日足*，白浜町日置*				
2023年07月16日17時36分	和歌山県北部	34° 11.5' N	135° 11.2' E	5km	M2.0
和歌山県	震度 1： 和歌山市男野芝丁				
2023年07月17日08時03分	和歌山県北部	34° 11.6' N	135° 11.2' E	5km	M2.6
和歌山県	震度 1： 和歌山市男野芝丁，和歌山市一番丁*，海南市下津*				
2023年07月20日02時11分	紀伊水道	34° 13.1' N	135° 07.4' E	7km	M2.7
和歌山県	震度 2： 和歌山市一番丁* 震度 1： 和歌山市男野芝丁				

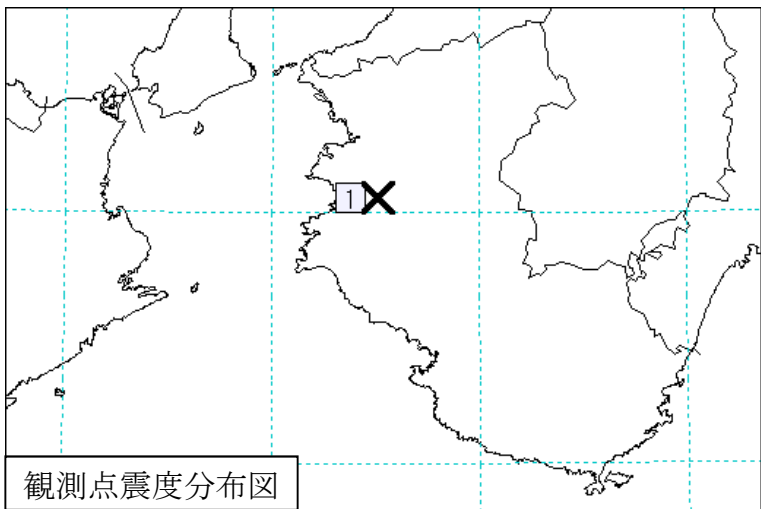
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

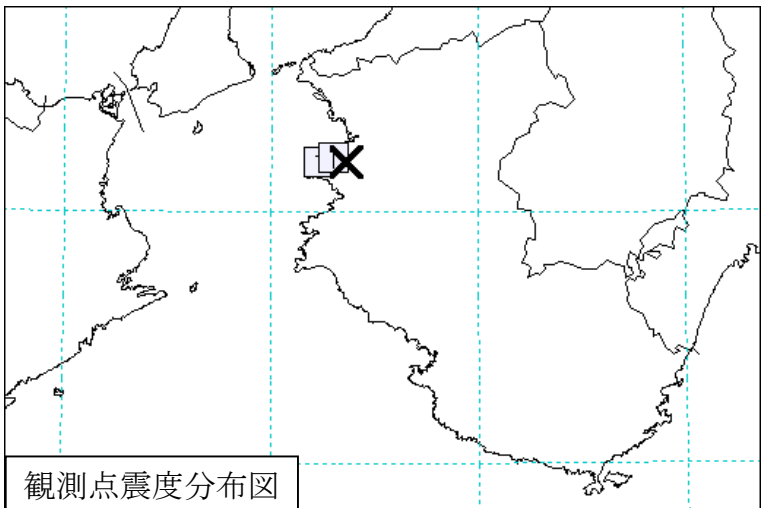
2023年07月02日21時58分 紀伊水道の地震（深さ9km、M3.3）



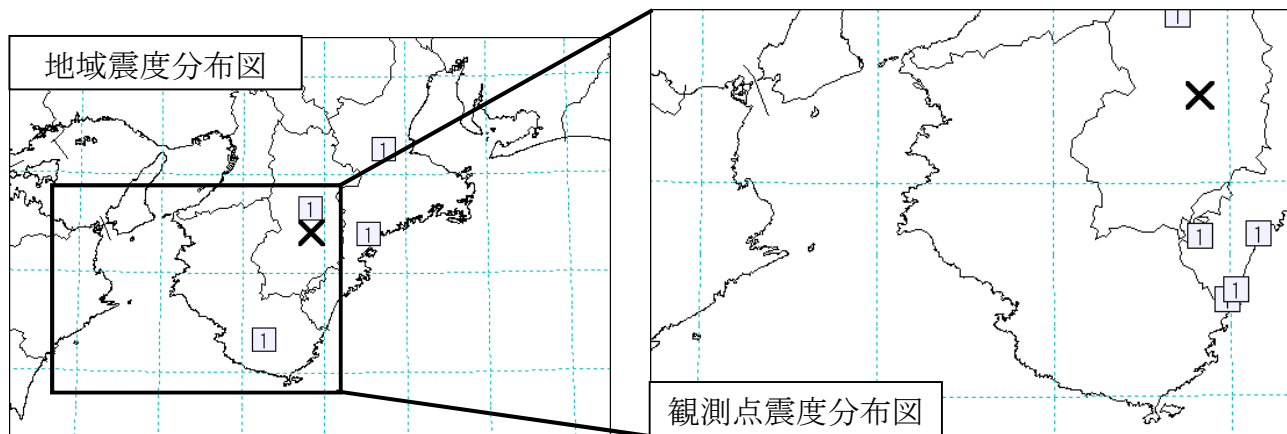
2023年07月03日09時36分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.0）



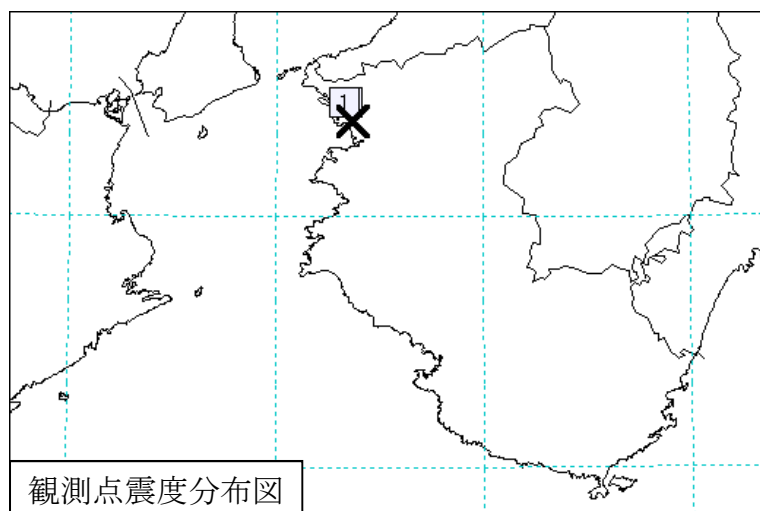
2023年07月06日01時43分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M2.3）



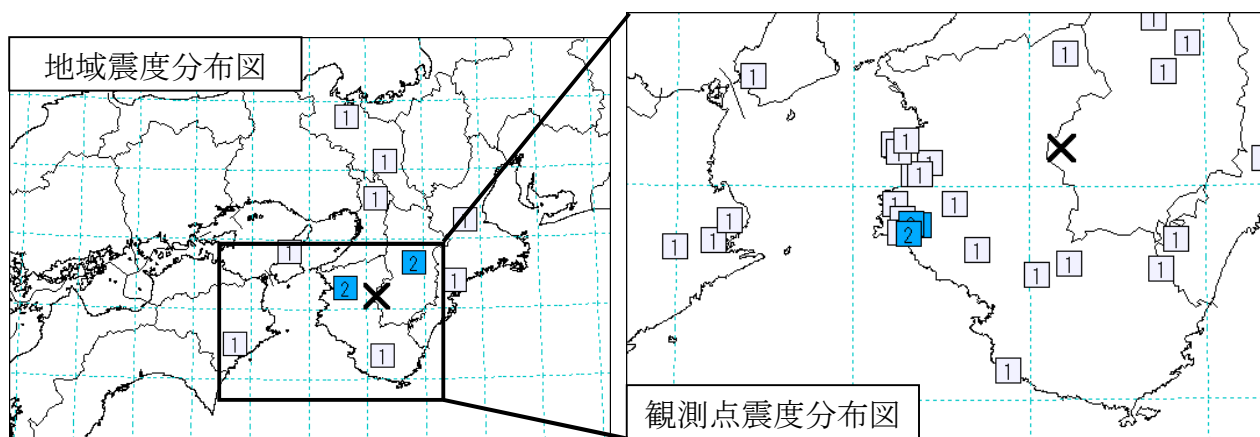
2023年07月06日18時57分 奈良県の地震（深さ48km、M3.4）



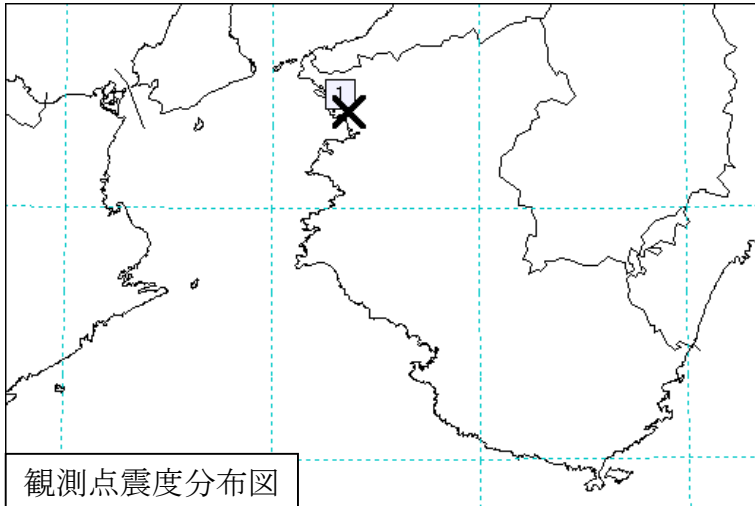
2023年07月16日13時43分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.2）



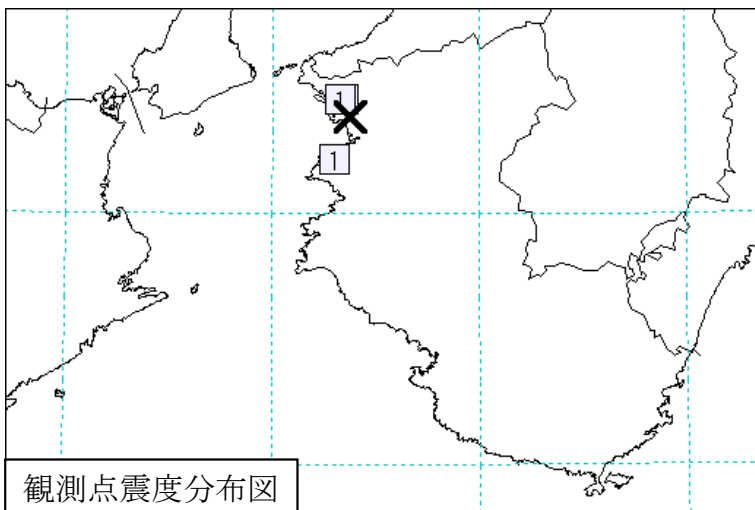
2023年07月16日14時22分 奈良県の地震（深さ64km、M4.0）



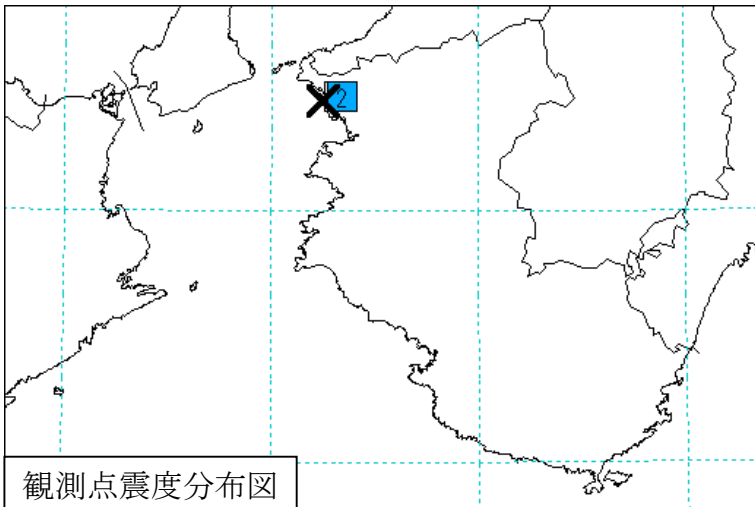
2023年07月16日17時36分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.0）



2023年07月17日08時03分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.6）



2023年07月20日02時11分 紀伊水道の地震（深さ7km、M2.7）



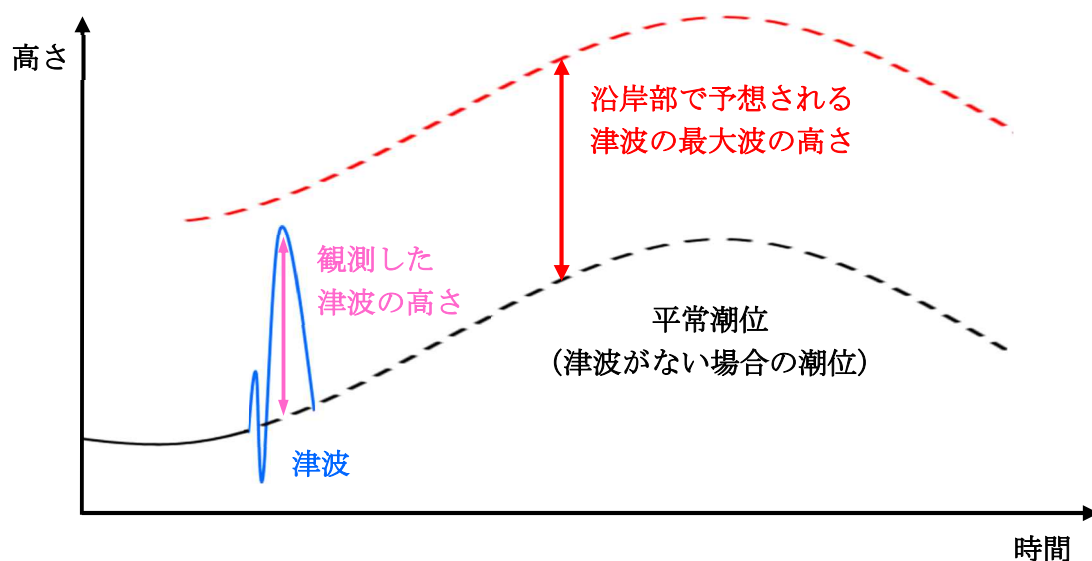
2. 地震一口メモ

「津波の高さ」について

気象庁は、津波による災害のおそれがある場合、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下、津波警報等）を発表し、沿岸部で予想される津波の最大波の高さ等を津波情報で発表しますが、最大波の到達時刻を予想することは困難です。津波は長い時間くり返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまでは避難を続けましょう。

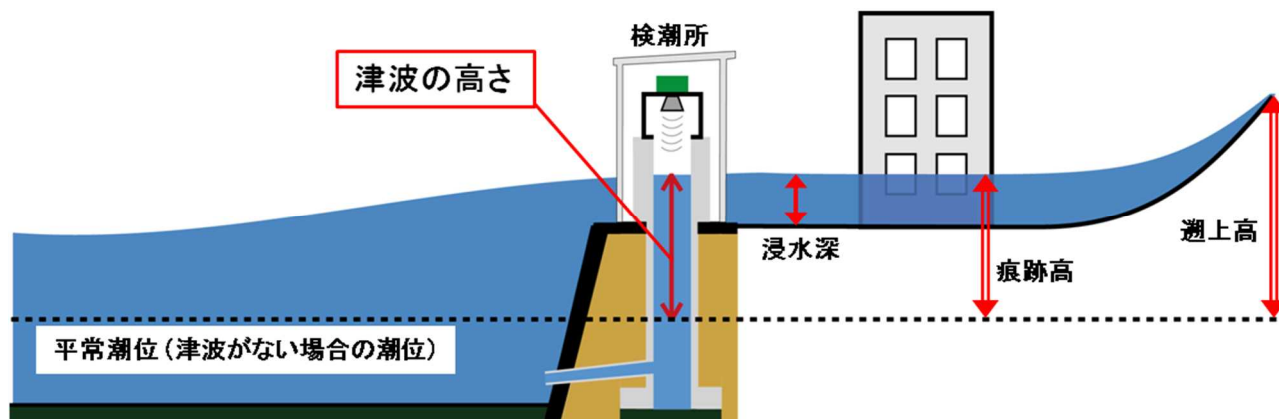
また、津波が観測された場合は、観測した津波の高さ等を津波情報で発表します。場所によっては、観測した津波の高さよりさらに大きな津波が到達しているおそれがあります。

気象庁が発表する「津波の高さ」とは、予想も観測も、平常潮位（津波がない場合の潮位）から、津波によって海面が上昇した高さのことです。平常潮位が高くなる満潮時の方が、危険性が高まります。



陸地へ津波が襲来した痕跡を調査し、津波の高さを公表することがありますが、「浸水深」は地面からの高さ、「痕跡高」と「遡上高」は平常潮位（津波襲来時）からの高さとなります。津波の高さといっても、観測や測定方法によって違うことに注意が必要です。

記録に残っている中では、日本で一番高い遡上高は、2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による津波です。「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による調査により、岩手県大船渡市の綾里湾で局所的に40.1mの遡上高が観測されました。



図：気象庁HPより